

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学 2024 夏季
-----	---------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4000 円	Sim 代
現地通学費	0 円	(研修先まで 約 15 分) 徒歩
教養娯楽費	11000 円	入場料など
被服費	0 円	
雑費	30000 円	お土産、洗濯
その他	2600 円	例: 交通費
合計	88000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発前に空港で 3 万円分両替した。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本デビットカードを使った。現地通貨を約 3 万円分持って行ったが、割り勘で使うくらいなのであまり必要ないと思った。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Sim を日本で購入(10GB) 約5GB 使用
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
・コップ ・のど飴 ・味噌汁 ・食器用洗剤・スポンジ ・ジップロック(食べ物を友達と分けるため) ・洗濯用洗剤 ・洗濯紐・ハンガー・ピンチハンガー ・缶切り ・100 均のパスタメーカー

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 寮の部屋のドアに勝手にカギがかかってしまった。大学のセキュリティに電話をした) 特記事項: カギが部屋の中にあったので隣の建物の寮の事務のようところに行った。しかし、夜遅くで閉まっていたため近くにいた goSAFE の人に相談したらセキュリティに電話をするよう言われた。電話をかけたなら30分くらいで開けに来てくれた。goSAFE の人が電話と一緒に聞いていて助けてくれてとても親切だった。(部屋のカギはオートロックではない)
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
現地のコミュニティーリーダーにジェーン・アンド・フィンチには行かないように言われた。 遊びに行くときは貴重品が入っているバッグは目に見える位置にあるように小さめのバッグを使った。 盗難にはあわなかった。また、そのような被害にあった人も聞かなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
大学施設内では Wi-Fi を使うことができる。停電したとき以外は問題なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
・部屋がとても乾燥していたため寝るときにマスクがあると良い。空調のスイッチを見つけるのに苦労した。鏡は壁に備え付けてあった。廊下の話し声が部屋からよく聞こえる。 ・シャワーが各フロアに3つしかないため時間によっては混み合う。きれいではないためサンダル必須。バスタオル1枚とハンドタオルが2枚支給された。シャワーに入るときに服などを入れておく大きめのビニール袋があると良い。 ・キッチンが2フロアで共有。カラリーや洗剤・スポンジなどは何も無い。冷蔵庫・電子レンジ・トースターがある。名前を書いておいたヨーグルトが数個盗まれた。中身が見えない袋に入れておくのと盗まれないらしい。 ・洗濯・乾燥は YU カードが発行されるまで使えないため、日本で発行しておいたほうがいい。ゲストカードを発行したが使えなかった。(大学内では使える店がある。) YU カードを発行せず、洗濯袋のみで洗濯している人もいた。 ・1階に水を汲む場所があったので毎日水筒に入れて持って行っていた。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業初日に受けた約1時間のテストでクラス分けをされた。私がいたクラスはほとんど明治の学生だったため他大の人と関わる機会は限られていた。他国の学生も数人いたが、ほかのクラスは日本人のみだった。 午前の授業では4技能すべてについて学んだ。特に発音について細かく練習した。課題はほぼ毎日あり、午後にアクティビティがある日は少し大変だった。午後の授業はカナダの文化に関することだった。
2) 課外プログラムについて
バスで目的地まで送迎してくれるが、帰りたいときに自分で帰ることもできる。バスでは毎回9時～10時代に大学に帰ってきた。ほとんどの主要な観光地に行くことができて良かった。ナイアガラの滝がとても印象に残っている。
3) 現地での生活に関すること
大学内にはドラッグストアがあり少しだけ食べ物もあるが、日常的に使えるようなスーパーは寮から離れていたため、日曜日にダウントウンに遊びに行った帰りにスーパーに寄った。数人でパンやパスタソース、野菜などを分けた。日本から持って行った味噌汁はアクティビティから帰ってきてから飲むのに丁度良かった。 気温は高くても28℃くらいで、朝は少し肌寒かったがとても過ごしやすかった。初めのうちは乾燥が気になったがだんだん慣れた。地下鉄やバスは PRESTO という suica や pasmo のようなカードを使って乗ることもできるが、タッチ決済ができるクレジットカード・デビットカードが使えるので便利だった。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
コミュニティーリーダーが午後の文化の授業をしたり、アクティビティに連れて行ってくれたりした。ただ、プログラムに参加している大勢に対して4人ほどだったので、たくさん交流ができたわけではない。積極的に話しかけないとあまり会話せず終わってしまう。また、現地の学生は夏休み中のためかあまり居なかった。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外での交流はあまりなかった。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
チップ制度が初めはよくわからなかった。カードで支払う場合何%払うか選択できた。 午後9時くらいまで明るいので、ダウントウンに行ったときに多くの人が散歩や運動をしていて自分の時間が取れていると感じた。訪れたほとんどの場所には飲料水を汲める場所があり驚いた。とても便利だった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。（200 字以上）

私がこの研修を選んだ理由は、現時点の自分の語学力でどの程度生活できるのか知りたかったから。また、授業以外にもアクティビティが充実していて、現地の人の生活をより近くで感じられると思ったからです。授業を受けたり様々な所を訪れたりして思ったことは、できとうな人ほど過ごしやすいということです。会話をする際もとにかく伝えようという気持ちがあればつたなくても伝わります。ただ、思ったことをすぐに表せないことや、日常会話ができないことが悔しかったです。また、食事や生活、自分たちだけで行動するときでもある程度できとうに、怯えすぎないほうが最大限楽しむことができますと思います。飛行機が遅延して予定の乗り継ぎ便に乗れなくても大丈夫です。2 週間半は本当にあっという間ですが、共同生活を含め充実した時間を送ることができました。初めての留学として最適な研修だと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学
-----	-------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	Esim 代
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩15分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	20000 円	例:お土産
合計	56000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 友達と割り勘するとき
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほぼクレジットカードで支払えます。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
大学内の Wi-Fi でほとんど使えるので sim は 10 ギガくらいで十分です。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本食、食器用洗剤とスポンジ、缶切り、暇なときにみんなで遊べるトランプなど。留学中に救急車で運ばれた友達がいいましたが、その時の大学や旅行代理店の対応が不十分であったと聞き、事前に旅行保険など確認した方がいいかもしれません。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: キャンパス内のオフィスの方)
特記事項: 洗濯でゲストカードが使えない。チャージした分は大学内のお店で消費できるとのことでした。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
女子の階に外国人男性複数人が住んでおり、薬物(マリファナ)の香りが充満していたり夜通し騒がしかったり女子トイレに入ってきたりと怖かったです。調達して冷蔵庫に入れていた食べ物が盗まれることが多くありました。停電や洗濯機でゲストカードが使えないなどのトラブルがありました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
大学内の Wi-Fi は不自由なく使えた。キャンパス内であれば建物の中でなくて外でも Wi-Fi がつながります。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
基本的に寮には調理道具やガスコンロなどはありません。現地は濃い食べ物しかないのでレンジでできる米などの持参をおすすめします。洗濯は毎度お金がかかります。友達はランドリーを使わず洗濯袋を利用して節約していました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
キャンパス内の寮なので、周りは安全な方だと思います。先生はやさしい英語を使ってくれたり、ゆっくり繰り返し使ってくれたりするので全てでなくても大体は理解できます。周りの生徒は日本人しかいないので英語で実際に生活したいと思う人にはお勧めできません。
2)課外プログラムについて
さまざまなイベントがあるのでカナダ、トロントを満喫できます。野球観戦やナイヤガラの滝は日本とは違い、とても新鮮で楽しかったです。イベントがある日は夜遅くまであるので次の日授業があると大変でした。
3)現地での生活に関すること
ヨーク大学はとても広くていろいろなお店があり自然豊かです。8月の気候も過ごしやすく快適に生活できます。日曜日は自由時間なのでトロント市街に出てショッピングや食事ができます。ただ外食は少しコストがかかるので、スーパーで調達した簡単な自炊もしながらやっていました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地の大学生らしき人がコミュニティリーダーとして大学の案内や観光地まで引き連れてくれます。そういった人との交流や野球観戦している人、お店の店員などの会話くらいかなと思います。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
簡単な質問をしたり、日本から持ってきたちよっとしたお菓子をあげたりしました。冷たい人もいますが、とても面白くて優しい人もたくさんいます。私自身英語が得意ではありませんが何とか通じるよう頑張れば意外とうまくいきます。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
野球観戦の際、とてもフレンドリーなお店の人が突然無料でピーナッツをくれたり、グローブをあげようとしてくれました。(左利き用のグローブでその時左利きがいなかったのでもらえませんでした…)日本とは違って自由な国だなと思いました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は英語に自信がなくかなり不安な気持ちでこの研修に参加しましたが、とても楽しく過ごすことが出来ました。もちろん英語力は必要ですが一番大事なのは積極的にやってみる、話してみる気持ちかなと思います。そうすると向こうの現地の方も察してわかりやすい英語で話してくれたり、ジェスチャーをつけてくれたりします。中には冷たく接してくる人もいますがそれも異文化交流や経験として流して、めげずにやっていけば充実した20日間になると思います。またそれぞれのレベルに合わせた授業もあります。もし留学に興味があるけど不安で踏み出せない人がいればこの研修はおすすめです。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	夏季ヨーク大学研修
-----	-----------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	14380 円	ドコモの世界そのまぎガ
現地通学費	0 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	10000 円	
被服費	10000 円	
雑費	10000 円	
その他	円	例:
合計	74380 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 換金所で 4 万円を両替しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
カードで支払うところばかりでした。Apple Pay とかでタッチできる機能がないとかなり不便だと思います。
現金は全然使わなかったです。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
docomo の世界そのまぎガ
設定がとても簡単でした。電波状況も良かったです。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ハンガー(ハンガーラックはありましたが、ハンガーがなかったです。現地で買うとドラマで 5 ドルぐらいだったと思います。)
洗剤とスポンジ(洗剤は現地でも買えますが、サイズが大きすぎるので、日本から小さいのを持っていくのを勧めます。)
ピーサンとスリッパ(シャワー時は床が汚かったため、ピーサンを履いたままシャワーを浴びました。)
ラップやタッパ(お皿代わりに使ったり、お昼ご飯を持参するときに便利でした。)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
治安の悪い場所を現地にいる友人やネットで調べました。治安が悪いところではリュックを前にして歩きました。基本的には治安はいいですが、夜のトロント大学付近の街はホームレスのような方が沢山いて少し危なかったです。できる限り現地の 2 人組で歩いている方たちの近くを歩いていました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
5G が繋がるところが多かったです。地下鉄は途中の区間で圏外になるところがあります。授業の教室や寮では Wi-Fi が使えます。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
水回りはあまり綺麗ではありませんでした。臭いがきつい時あれば、ハエが沢山いた時もありました。トイレの個室のタイルが濡れている時もあるので、寮で使うスリッパはサンダルのようなものの方が良いです。シャワースペースはすごく狭く、着替えを置くカゴなどもないので、撥水加工のあるエコバッグにタオルや着替えを入れてドアのフックにかけていました。袋はかなり濡れてしまいます。共有スペースの冷蔵庫のサイズはかなり小さめです。また、名前を書いてもとられてしまっている人もいたので、中身が見えないビニールなどで包んでいる人もいました。(特にヨーグルトやゼリーが盗まれます)	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
私のクラスの授業では、みんなの前での発表が沢山あり、人前で英語を喋る練習が沢山できました。ゲームなども交えながら授業を行っていたのでとても楽しかったです。授業で滞在中の vlog を作ったり、ディベートをしたりしたので英語以外でも学ぶことが多かったです。 良くなかった点としては、学生が全員日本人のため、プレゼンの準備の時や課題をペアで解き合うときに日本語で話してしまって英語を話している割合が少ないことです。
2) 課外プログラムについて
トロントの主要観光地に沢山連れて行ってくれるためとても楽しかったです。 大体、行きは集合時間の 1 時間後くらいにバスが迎えに来るのでかなり待ちます。帰りは現地で各自電車で帰ることもできますし、バスのお迎えを待つこともできます。毎回かなり遅いのでアクティビティがある日のシャワーは並んでいました。
3) 現地での生活に関すること
観光など日暮れるのが 21 時ごろなので、かなり長くお出かけすることができます。課外プログラムがない平日の午後や日曜日はいろいろな場所を観光しました。 服装夜は気温が下がるのですが、布団がかなり薄いため寒かったです。また、急に気温が低下した日が 3 日間あり、長袖をもう少し持ってくれば良かったと思いました。 食事について飲食店は基本的に高いです。寮だと電子レンジ(かなり汚い)しか使えないため、電気ケトルを持ってきている子に借りてお湯を沸かしていました。日本から持ってこられる食材には限界があるのでレタスやアボカド、バナナ、オレンジを買って栄養を取っていました。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
午後の授業と課外授業の引率をしてくれるコミュニケーションリーダー的な現地学生 4 人とか関わりがありませんでした。また、なかなか喋る機会がないので名前を覚えているのかも微妙なくらいです。自分から積極的に話しかけることはできます。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
特になし

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
・ペットボトルの水が高いです。ショッピングモールや大学内には沢山水を汲める場所があるため、マイボトルを用意して飲み水を確保していました。ただ、美味しいかは微妙ですが。 ・食べ物の量が多いです。ですが、持ち帰りたいたえば容器や袋をくれます。 ・スーパーやコンビニでお酒を売っていない。ダウントウンまで行かないとお酒は買えません。また、そのお店は必ず年齢確認をされます。 しかし、飲食店ではあまり年齢確認をされませんでした。 ・横断歩道を渡ろうとすると車が必ず止まってくれます。日本よりも優しいです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

自分は英語があまり得意じゃないのですが、英語の授業が午前中だけだったので楽しく学ぶことができました。また、英語能力以外にもカナダの文化を学んだり、他大学の子と話す機会があったりと様々な学びがありました。

主要観光地に行けるプログラムなので、とても充実した研修でした。

生活

部屋だと 1 人になってしまいますが、共有スペースがあるので、朝や夜はみんなで共有スペースでご飯を食べるのが楽しかったです。

英語をがっちり学びたい人にはお勧めできませんが、異文化を学びたい人や沢山観光したい人にはとてもお勧めです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学2024年夏季
-----	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約50000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	14400 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 10分)
教養娯楽費	8577 円	
被服費	約11000 円	
雑費	2325 円	交通費
その他	約73000 円	例:土産代など
合計	約160000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:ワールドカレンシーショップ
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現地はほとんどカード決済です。現金でしか払えないところは研修中遭遇しませんでした。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ローミングを使用しました。(au 海外放題)金額は他に比べて多少高額ですが、日時を予約しておけば特別な作業は必要なく不安になることがなかったこと、寮に Wi-Fi があるため常にデータの通信量に余裕があったことが良かった点です。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
準備してよかったもの→ビーチサンダル、カトラリー、タッパー、パスタ用タッパー、のど飴、帽子、サングラス、日焼け止め、洗剤類
(現地には巨大なものしか売ってない)、固形石鹸、ハンガー、洗濯紐、エコバッグ、ドライヤー、時計
準備したほうがよかったもの→レトルトご飯、お菓子、電子ケトル

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:大学のセキュリティサービスとともにプログラムのマネージャーに相談することが有効なこともあったと感じました。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ジェーンフィンチという治安が比較的悪い地域には行かないこと、貴重品は取りにくいところにあること、カバンを見える範囲に持つこと、夜出歩かないこと、一人で行動しないことに気を付けていましたが、犯罪に巻き込まれることはなかったです。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題はなかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
まず明治以外の大学生や海外の方も住んでいる寮であることを前提に読んでいってください。私が滞在した期間にはエアコンの点検で1回、カーペットの清掃で1回、おそらく不定期で1回の計3回ハウスキーパーの人が出入りました。基本的に掃除は自分で行い、ごみはかごと外に出しておけば毎朝回収してくれる感じです。隣の人によるのですが、音楽を爆音で流されることがあるので耳栓は用意したほうがいいかもしれません。また洗濯は洗濯機と乾燥機が分かれています。毎回費用が掛かります。先輩方の中にはそれらを使用せず洗濯袋で乗り切った人もいました。部屋には洗濯物を干すところはほとんどないのでハンガーはもちろんほかにも工夫することをお勧めします。シャワールームは基本的に汚いのでサンダル類を持って行ってください。キッチンでは自炊は不可能で、電子レンジとトースターがあります。冷蔵庫は名前を書いて盗まれます。袋に入れると少しマシになります。盗まれる覚悟は持ったほうが楽です。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 日本ではやらない基礎を固められたこと、Assignment を通して実践的な学びができたことが良かったです。よくない点としてはどうしても日本人が多いので英語を話すモチベーションの維持が大変だということです。
2)課外プログラムについて 充実していました。適度な自由度でした。
3)現地での生活に関すること 滞在先については上記のものを参考にしてください。日本と大きく異なる点はチップの存在だと思います。サービスに問題がない場合、基本的に15パーセントが下限、18パーセントが普通なのかなと感じました。環境については、カナダでは大麻の所持・使用が合法であるため、街中で大麻の匂い(タバコとは異なる臭さ)がします。これに関しては慣れるしかないです。交通手段としては日本という suica がなくても、タッチ決済可能なカードがあれば suica のように使用できます。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 基本的に20人程度のグループに1人のコミュニティーリーダーがつく形でした。積極性がないとしっかりとかわることは難しいと思います。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 美術館のショップの店員さんと少し雑談をしました。私がポケモンのキーホルダーをつけていることに気づいて話しかけてくれました。その方は呪術廻戦の缶バッジを付けていました。日本の世界的に有名なものについての話題があると関わりやすいかもしれません。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 大学のキャンパスをはじめ、お店も公園も広く、空間を大きく使っていることが印象的でした。食べ物のほとんどが甘いことも驚きました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

旅行なども含めて今回が初めての海外でした。カナダでは特に治安が悪いと感じたこともないので初めての人にも勧められる留学先だと思います。

生活の面では一番食事に困りました。日本から米をもっていけない限り小麦中心で、外で買うと量が多いので胃腸の荒れを感じることもありました。栄養がなるべく偏らないように気を遣う必要があると感じました。参考までに私はあまりフリーズドライ味噌汁を食べませんでした。

授業の面では私は今の英語力を見直すきっかけになりました。もともと英語に自信があるほうではなかったのですが、やはり基礎的な部分でも不十分だったので、今まで見逃していたことに向き合ういい機会だったと思います。課題は日本で英語ではやらないような実践的な内容が多く、量はある程度ありましたが楽しんで取り組みました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学夏季語学研修
-----	-------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	6万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3千 円	Phonebox 20G おすすめ！
現地通学費	0 円	(研修先まで 歩いて10分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	6万 円	ヨーク大学、トロント大学のパーカーと古着
雑費	1万 円	
その他	円	例:
合計	13万3千 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
主にクレジットカード 基本どこでもキャッシュレス決済ができる。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-sim が簡単で安く電波も良い。 Phonebox 20G Wi-Fi が繋がってない外でも気にせずに使用できるのでおススメ。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
サンダル、電気ケトル、サウのごはんパック 20パック、ふりかけ、お茶漬け、インスタント麺、パスタ(+ソース)、タッパー、水筒。
一つのボストンバックに食料を詰めて持っていき、帰りにお土産や買ったものを入れられる。食料に関しては、空港で確認されることもない、日本食が絶対に恋しくなるし、食費も抑えられるので絶対持っていったほうが良い。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項: 自分ではないが、体調不良になり、救急車で運ばれていたのでは保険が重要だと感じた。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ポケットに貴重品を入れない。特にトラブルはなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
心配なし。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
スリッパ、ビーチサンダルは必須。一人部屋で月曜日に掃除やシーツ交換が行われた。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
課外活動が多くて充実している。勉強、英語が苦手でも大丈夫です。本当に。 明治大学生約20人と大阪や東京の大学生合わせて約90人が点数順で5クラスに分けられる。名前、点数も表示される。 クラスが上になれば課題も多くなる印象。平日午前授業、2日に1回、午後3時まで授業。
2)課外プログラムについて
メジャーリーグ観戦は野球の知らない人たちも大満足するくらい本当に楽しかった。
3)現地での生活に関すること
ヨーク大学の立地、交通の便も良い。 日本食が恋しくなるのでサトウのごはん等必須。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
日本人が多くて現地学生との交流は少なめ。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
買い物時に文法など気にせずに店員さんと会話する。 古着屋は絶対に値下げできるのでチャレンジするといいい経験になる。 私は「 discount please!!! from Japan!!! 」で20ドル値下げすることができた。必要なのは英語力ではなく、パッション

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
現地の人たちの一部は無賃乗車を当たり前に行っているが、時々警察が取り締まりをしているので絶対にやめたほうが良い。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修先を選んだ理由は、英語学習ほぼ0の私でも乗り越えられると思ったからです。やっぱり必要なのは英語力よりもパッションでした。 研修は点数順でクラス分けがされるため、それぞれに合った学習ができます。本当に全く英語ができない私でも授業は何とかしたので、英語が苦手な人にもおすすめです。もちろん英語が得意な方は上位クラスでレベルの高い人たちと授業を受けることができます。ですが、約90人中、80人くらいは日本人でした。日本人のいない環境で英語を学びたい人にはおすすめしません。英語の勉強だけでなく、カナダの文化や観光地の話も多くて、単なる授業では得ることのできない知識や経験、貴重な時間を過ごすことが出来ます。寮も1人部屋である程度の清潔感ある部屋や設備が整っていたほか、スーパーやドラッグストアも近くに多くあるので生活しやすかったです。
--

最後に！英語ができないから、、、お金が、、、と悩んでいるそのあなたへ！

私は社会人を経験してから大学に入学しました。就職すると2, 3週間休みをとって、海外で生活することはむずかしくなってきました！

2, 3週間で英語がペラペラにはならないと思います。ですが、人間性や社会に出て必要なことを多く学ぶことができます。

人の痛みを感じ取る能力が高まり、困っている人に手を差し伸べられるようになり、家族や周りの人々に対する感謝の気持ちがより一層深まります。

異文化に触れることで、優しさや想像力は飛躍的に豊かになり、価値観が根底から書き換えられます。

留学は単なる言語習得の場ではなく、人間としての成長の場でもあると感じることができました。

迷っているなら行くべき！がんばれ！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学 2024 年夏季
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6500 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	4000 円	
雑費	10000 円	お土産
その他	円	例:
合計	75000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発直前に両替をしました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
小銭が多すぎるので、カードを使う方が便利だと思いました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Holafly で eSIM を購入しました。毎日無制限で使えるもので、約 6000 円でした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
電気ポットや、できるだけ多くの日本の食べ物を持っていくと良いと思いました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
治安が良かったので、それほど心配はありませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
インターネット接続のために、自分の学生番号とパスワードを覚えておくのと良いです。そうしないと、10 分ごとに Wi-Fi が切れてしまいます。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

かなり古い寮です。トイレとバスは同じ階の人たちと共有で使うのですが、バスの場合、水圧が弱いです。また、水が流れにくいことがあります。でも、慣れてしまえば大丈夫なので、その点はあまり心配しなくてもいいと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

発音の仕方について学んだり、ディベートを行ったりして、自分の意見を述べる方法を学び、英語に対する自信ができました。また、発音をどうすればネイティブのようにできるかについても学びました。

2)課外プログラムについて

カナダのさまざまなランドマークを訪れながら、カナダの雰囲気を感じることができました。有名な通りや島、遊園地、そしてナイアガラの滝まで行き、同行した友達と素晴らしい思い出をたくさん作ることができました。

3)現地での生活に関すること

学校周辺は実際には賑やかではありませんが、駅から乗り換えなしでダウンタウンに行くことができます。そこで食べ物もたくさんあり、カナダの雰囲気を感じることができると思います。治安も非常に良かったので、生活するのに快適でした。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地の学生たちとの学期が重ならなかったため、大きな交流はありませんでしたが、プログラム活動をサポートしてくれる学生たちとは多く接する機会がありました。その学生たちの授業を受けることができたり、親しくなることもあるので、英語スピーキングの練習にもなると思います。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

同じプログラムの友達とランドマークに行くなどの交流がありましたが、残念ながら現地の学生との交流はあまりありませんでした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

人々がより自由である点や気温が大きく異なることを感じました。日本の夏は非常に暑いですが、カナダの夏は寒い日もありました。また、天気が突然変わることがあるので、傘を持って歩くことをお勧めします。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

最初は、初めて会う人たちと過ごすことが慣れないため、少し不安に感じるかもしれませんが、時間が経つにつれて自然に親しくなれると思います。意外にも、日本人学生が多いため、授業以外では英語を使う機会がありません。そのため、自分から外に出て注文を試みたり、人に話しかけたりする努力が良いと思います。プログラム中には多くのランドマークを訪れることができ、カナダ・トロントの雰囲気を十分に楽しめる充実した2週間になると思いますので、夏休みを有意義に過ごしたい学生には非常におすすめのプログラムです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学 2024 年夏季
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	36,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5,000 円	SIM カード
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 15 分)
教養娯楽費	12,000 円	自由行動の際の交通費や観光地での入場料など
被服費	4,600 円	記念に購入したトロントのトレーナー
雑費	12,000 円	スーツケースのレンタル費
その他	12,000 円	お土産代
合計	81,600 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 日本でカナダドルに換金しました。カナダではほとんどの場所でカードが使えるので、現金が必要になるのは友達と割り勘にするとくらいでした。2〜3 万円分あれば十分だと思います。

その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

クレジットカードをアップルウォレットに登録しておく、財布を取り出さずにスマートフォンをかざすだけで決済ができるので便利でした。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

日本で SIM カードを購入し、機内で入れ替えました。寮や学校では基本的に Wi-Fi が使えるので 10GB あれば十分だと思います。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

・置き時計、ハンガー(寮の部屋には置いていないので、持って行って良かったです。)
・タッパーとカトラリー(タッパーはレンジでお湯を沸かし学校に昼食を持って行ったりするときに使いました。パスタ用の細長いタッパーを持ってきている人がいて、便利そうと思いました。)
・缶切り(カナダの缶は日本のようなプルタブ式ではないものもあるので、持って行って良かったです。)
・食器用洗剤とスポンジ(寮のキッチンには何も置いていないので、日本から持って行くか現地で買う必要があります。)
・ジップロック(スーパーで大容量の食材を買って何人かで分けたり開封済みの食料を保存したりするときがあると便利だと思います。私は持って行っていなかったので、ラップで代用していました。)
・日本食(日本から持って行ったお菓子はあまり食べませんでした。それよりはお腹に溜まるサトウのごはんやカップ麺があると現地で食糧を調達する手間が省けるので楽だと思います。)
・消臭スプレー(毎日洗濯するわけではないので、使用済みのタオルのにおいや服のにおいが気になる方はあると便利かもしれません。)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

あらかじめ治安の悪い地域を調べ、そうした場所に行くときは貴重品の取り扱いに気を付けていました(チャイナタウン、ユニオン駅周辺、ナイアガラ滝などの観光地)。現地のコミュニティリーダーからもジェーンアンドフィンチは危険だから近づかないようにと言われました。防犯対策として、クレジットカードはスキミング防止のケースに入れ、財布にはストラップをつけて鞆と繋げていました。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
留学中に2度停電があり、その間は一時的に寮のWi-Fiが繋がりませんでしたが、それ以外の期間はスムーズに使えました。

滞在形態関連	
1)留学中の滞在先の種類	2)部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
寮ではサンダルが必須でした。お風呂にそのまま入れる、濡れても良いサンダルと部屋で使うスリッパなど用途別に複数あると便利です。寮は壁が薄いので、夜に隣の部屋から現地学生の話声が聞こえてくることがあり、気になりました。飲み水は、寮の1階に無料の給水所があるので、水筒を持参してそこで入れていました。洗濯にはYUカードという学生証のようなものが必要で、発行に時間がかかるため日本にいる間にあらかじめ申請しておくことをおすすめします。ですが、YUカードを発行せずに日本から持ってきた洗濯袋で毎回手洗いして洗濯機を使わずに乗り切っている人もいました。共有スペースに冷蔵庫がありますが、食材に名前を書いていても勝手に食べられてしまうことが何度ありました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
英語の音節とアクセントに関する授業では、今まで意識していなかった部分を学ぶことができ、勉強になりました。また、2〜3人のグループで英語のVlogを作成する課題では、一から自分たちで撮影し編集する難しさもありましたが、貴重な経験ができました。
2)課外プログラムについて
遊園地や野球観戦など様々な課外プログラムが用意されていてとても充実していました。特に印象に残っているのはナイアガラの滝です。別料金にはなりますが、滝の近くまで行くことができるクルーズ体験は迫力があり楽しいのでおすすめです！日によっては、帰りが夜の11時くらいになることもあり、一斉に帰宅するのでお風呂が混み合っていました。
3)現地での生活に関すること
基本的に昼間は半袖で生活できますが、朝晩は冷えるので長袖のパーカーを持ち歩くようにしていました。また、日によっては15℃くらいまで下がることもあったので、長袖のトレーナーが1〜2枚あると良いと思います。カナダでは、日本ほどきちんと商品管理がされておらず、賞味期限切れの商品が普通に売られていることがあるので注意が必要です。日本に比べると、料理の量が多くどれもジャンキーなので、胃もたれしやすい方は胃薬があると安心だと思います。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地のコミュニティリーダーがカナダの食や音楽について教えてくれる授業があり、その中で話す機会がありました。また、課外プログラムは基本的にコミュニティリーダーが引率してくれるので、そこでもコミュニケーションを取ることができます。私のクラスには韓国やベトナムからも留学生が来ていて、日本人以外にも英語で話す機会がありました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
野球観戦の際に近くに座っていた現地の方と話しました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
カナダでは大麻が合法なので日常的に隣の部屋からマリファナのおいがしており、初めはとても驚きました。また、カナダはチップの文化があり、自分でチップの割合を決めなければならないので、慣れるまでやりづらかったです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は今回の留学が初めての海外だったので、長時間のフライトや入国審査などもわからないことだらけでしたが、日本から全員一緒に渡航したので安心でした。カナダは比較的治安が良く、食べ物も日本人の口に合いやすいので、海外に行ったことがない人でも生活しやすいと思います。留学前は上手くやっていけるか不安でしたが、いざプログラムが始まると学年や学部に関係なくみんなと仲を深めることができ、たくさんの思い出ができました。私たちのときはどの学年も2人以上参加しており、文系・理系問わず応募していたので、迷っている方がいたらぜひ挑戦してみてほしいと思います。実際に現地で生活してみて、カナダの自由な雰囲気や多様性を重視する文化に触れることができ、とても有意義な時間でした。このプログラムは授業以外にも様々なアクティビティが用意されており、非常に濃い2.5週間を過ごすことができました。毎週日曜日は授業が休みなので、あらかじめトロントの行ってみたい場所を調べておくのがおすすめです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学 短期語学研修
-----	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約65000 円	私は外食多めでした^^;
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約7000 円	Esim を事前に買いました
現地通学費	0 円	寮から徒歩圏内のため
教養娯楽費	約25000 円	交通費、おみやげ代、入場料
被服費	5000 円	古着屋で1着購入しました
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
合計	102000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発前日に最寄りで両替しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレカが一番便利でしたが、店によっては現金の方が安いこともあったので確認して払うと良いと思います。また、電車やバスを使う際、タッチ式のクレカは、日本の Suica のように交通系カードとして使えるので、タッチ式のクレカを用意すると良いと思います。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ネットで Esim を事前に購入しました。しかし、現地についてから繋がらないなどのトラブルもありました。SIM の購入、使用量の把握まで管轄しているアプリを使っている人は楽そうでした。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
味噌汁、サトウのごはん、ティッシュケース、海外対応のドライヤー、ミニハンガー、長袖パーカー

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: ヨーク大学の緊急コール) 特記事項: 友達が留学中に腹痛がひどく、救急車を呼んだ。大学の緊急コールで電話してなんとか病院までたどり着けた。(ちなみにその友達は盲腸でした) 旅行会社があまり力になってくれなかったの、自力で解決する必要があり大変そうでした。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
去年の方の留学体験記で危険と書かれていたところをメモしておいた。 犯罪には巻き込まれませんでした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
寮や飲食店などの Wi-Fi は良かったのですが、Esim はあまり良くなかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
寮の部屋は一人部屋で、同じ階には性別も違う海外の人もありました。中には、マリファナを日常的に吸っている外国人の隣の部屋になってしまった人もいたので、安心安全な寮ではないと思います。また、共同の冷蔵庫で食べ物を盗まれた人が何人か見受けられたので、名前をしっかりと書くことをお勧めします。洗濯は、ヨークカードを発行できていないと使えなかったのも、事前の登録からしっかり済ませておくことを勧めます。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
発音に特化した授業を受け、自分の足りない点を見つけることが出来て良かったです。 授業自体は興味深かったが、日本人しかいなかったため、異文化交流などはできなかったです。
2)課外プログラムについて
どれも楽しかったです。特にナイアガラの滝は感動しました。 バスで移動するのですが、集合時間よりも大幅に遅れて出発することが多く、時間のロスがありました。
3)現地での生活に関すること
食料品は基本 walmart などのスーパーで買うべきです。コンビニやドラッグストアもありますが、日本と違い、とても値段が高いのであまりおすすめしません。あと、朝がかなり寒いので、上着は必ず用意した方が良いでしょう。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地の学生が、課外プログラムを案内してくれたり、午後のアクティビティを企画してくれるので、その時に話すことが出来ます。しかし、自分から話さないとちゃんと交流することは出来ないと思います。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
大学の近くにあるレストランの店員さんと仲良くなって、お菓子をあげたり、連絡先を交換したりしました。 帰国するまでに4回も食べに行きました笑

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
チップです。カナダでは私たち日本人が思う以上にチップは重要な役割を果たしています。私は、いくら払うべきなのかを事前に調べずにレストランでチップを払ったところ、その額が少なかったようで、店員さんの機嫌を悪くさせてしまいました。そのため、事前に何%払うべきか調べることをお勧めします。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

カナダは比較的治安が良い国だと思いますが、チャイナタウンやナイアガラの滝周辺はスリが多いそうなので気を付けてください。 また、寮は正直なことを言うと衛生的にあまり綺麗ではなかったのも、汚いのが無理な人にはお勧めしません。 この留学を通して、日本にいただけでは気づけなかった日本の良いところ、逆に良くないところにも気づくことが出来ました。 異文化理解を深めたかった私にとっては、とても良い経験になりました。 また、新たに友だちを作ることも出来て楽しい思い出ができて良かったです。 英語のスピーキングへの取り組み方にも影響を与えてくれた留学になりました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学
-----	-------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	0 円	寮から授業を受ける建物まで徒歩 15 分
教養娯楽費	10000 円	テニスの大会やナイアガラの滝クルーズ
被服費	19000 円	大学のスウェットやアウトレットでの買い物
雑費	20000 円	お土産など
その他	0 円	
合計	100000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 新宿のレートの低い換金所で換金
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードのタッチ決済が一番便利。使えない場所はなかった。現金も換金して行っただが、支払い(特に硬貨)に慣れてないので時間がかかる上に、使い切る調整が難しかった。カードの手数料が気になる人は現金でも良いと思う。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM を利用した。イエローモバイルの PhoneBox で 20GB(初期費用 2510 円+プラン\$35)。アクティベートも簡単でスムーズに行えた。実際に使ったギガ数は 18GB。寮が停電した時や外出時のマップ利用・SNS に使用する必要があった。寮の wifi はゲスト用と生徒用があったが、学校のユーザー名とパスワードを入力すると生徒用を使えるため、YorkPlus という名前の wifi を使用するべき(ゲスト用は都度接続が必要)。授業中も学校の wifi を使う。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
寮用のサンダルとバスルーム用のビーチサンダル。
洗面所に行かなくても済むシート状のクレンジング、部屋の机で使えるメイク用の鏡。
帽子・サングラス。お湯を沸かす用の小さいポットはかなり便利だった。
加えて日本のお菓子(グミなど)や軽食をもう少し持っていけばよかった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
危険地域情報は案内してくれた現地の学生達に注意されていた場所だけ把握した。また、夜に出歩くと危険な場所は現地の友達に教えてもらい、帰りは近くまで送ってもらった。あまりにも危険そうな地域は感覚で察知できるほど不思議な雰囲気があった。ただ全体的に治安は良く、貴重品の盗難などの被害はなかった。しかし、寮内の冷蔵庫では勝手に物がなくなることも多々あった(名前や Don't touch と書いていても)。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
電話はLINE 電話のみを使用。インターネットに関しては、地下鉄を利用している以外はスムーズに使えた印象。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
バス(3つ)トイレ(3つ)洗面台(6台ほど)は共有。水回りに関しては、衛生面や臭いなど正直一番きつかった(おそらく清掃の頻度が少ない)。自分たち日本人だけでなく、現地の学生達も使用するため使い方が綺麗でない時もあった。シャワーは狭くタオルや服を置くスペースがないため、部屋着に着替えてから最小限の荷物を持ってバスルームに向かうようにしていた。シャワーの数が少ないため帰宅後はラッシュが起き、並ぶこともあった。深夜に入りうまく時間をずらすなどしていた。 朝(8:30 授業開始)は共用スペースに行かずに済むように、冷やす必要がないみかんやバナナを毎日 1 つずつ食べた。電子レンジは使えるが、ポットがないため、折りたたみやコンパクトなポットを持って行ったのが非常に便利だった。洗うのが面倒なためカトラリー系は使い切りが良い。自分たちの住む階数に他の学生もいたため、部屋からの騒音や臭いが気になる人もいた。また、洗濯の際に YU カードが必要となるが、案内通り日本で申請しておけば初日から利用可能である。中には最後まで洗濯袋を利用し自力で洗濯をし続けた人もいた。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業は難しすぎず前向きに取り組めるものだった。台本なしのプレゼンや準備時間の少ないディベートも行ったため、アドリブ力が培われ皆の前で英語を話す場数を踏める。ただ、夏休み中であり現地の学生との交流が十分にあるわけではないため、一緒に留学中の日本人と話す機会が多く、常に英語を話したいという人には物足りないプログラムと言える。授業では発音の基本的な解説もあったが、全体的に日本でも可能な授業内容であったと感じた。
2) 課外プログラムについて
カナダ(トロント側)を十分に観光しきれるプログラムだった。全てバスで移動するが、移動時間が長いことが多くシートベルトもなく揺れが多いため、乗り物酔いしやすい人は注意。日本から梅系のお菓子やグミ・ガムを持参すると良いかもしれない。有名どころは全て足を運ぶことができるため有意義であり楽しかった。授業ばかりで飽きるということはないため、アクティビティが多いこのプログラムはカナダを楽しみたい人にとってはピッタリだと思う。 課外活動の際、学校に迎えに来るバスの到着時間が平均1時間ほど遅れるため、待機の時間が非常に長かった(おそらく早めに集合させられていた)。そのこともあり、帰宅時間は23時を過ぎることもあった。そのような日はシャワーが混雑する。連絡をすれば自分たちで先に帰ることも可能であった。全て現地の学生が引率してくれる。この時に多く交流をはかるべき。
3) 現地での生活に関すること
1 人部屋のためプライベートの時間が重要な人は良いと思う。共用スペースで皆とご飯を食べる時間も非常に楽しかった。実際に授業を受ける建物や最寄りの駅も寮から徒歩 15 分ほどで着くため、便利。 ご飯は屋ごはんを教室のある建物の近くで食べ、夜は寮で日本から持ってきた食料やスーパーで調達した野菜を食べることがおすすめ。全て現地の食べ物だと値段が高い上にカロリーも高く健康的でない。 また、洋服は半袖が 1 枚、長袖を 5 枚ほどを持っていた。私はほぼ毎日長袖で良く、中には裏起毛でも十分なほど涼しい日もあった。出発直前に天気予報を見ながら持っていくべきであると思う。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
他大学生を含め約80人の学生に対し現地の学生は4人ほどであるため、自分から交流をはからないと仲良くなることは難しい。午後のカルチャーの授業も現地の学生が担当してくれるため積極的に発言し覚えてもらう。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
私は現地に友達にいたため、その友達に知人を紹介してもらいながら観光した。一緒に遊びに行ったり飲みに行ったりすることで英語を話す機会を増やすことができた。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

飲食店での店員の対応に衝撃を受けた。レジ中に電話を始め待たされたり、声をかけてもスルーされたりすることもあった。アジア人ということやチップ文化のない国出身ということで客の扱いに差があったと思う。チップを払わないと雑な対応に急変することがあるが、素敵な接客ではない場合、強い心を持って節約するべき。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

就活が終わった大学4年での参加であった私は、一定の期間をもって海外に行く機会が今後少なくなると感じ、後悔したくないと考えアクティビティも多いこのプログラムに参加を決めた。結果、十分に観光ができた楽しい2.5週間であった。ただ、水回りの清潔さなど、寮での生活は辛いと感じる場面も多かった。日本のどこでも綺麗にされているトイレや店員さんの対応は貴重な物であることを実感できた。

短期間であるということもあり、今回の研修で英語が飛躍的に伸びたとは言えないが、英語学習へのモチベーションは向上し、英語に取り組むハードルがかなり下がったと思う。英語で会話できることの楽しさを知ったため、今後も学習を続けていきたいと思った。また、明治大学からの同じ研修メンバーとは行き空港がほとんど初対面であったが、3週間寮も同じということもあり、仲を深めることができた。1-4年まで存在していたが、一緒に研修を乗り越えながら仲間とご飯を食べながら談笑する時間に助けられた。お互い積極的に情報を共有したことが有意義な研修につながった1つの要因であったと感じるため、グループでのチャットや実際の会話を大事にすることがおすすめ。全体を通して参加して良かったと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ヨーク大学研修
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5890 円	eSIM マート(30 日 20GB)
現地通学費	0 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	4000 円	ナイアガラのカヌー
被服費	15000 円	ヨーク大学のグッズ、ブルージェイズ、古着
雑費	30000 円	日用品(ティッシュ)、コインランドリー、お土産
その他	4000 円	例:交通費
合計	100,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発前に 1 万円分を両替した。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
E-SIM
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
サンダル、上着、タッパー、歯ブラシ、カトラリー、晴雨兼用の折り畳み傘

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
事前にネットで調べ、貴重品はなくしていないかこまめに確認した。 寮の部屋には金庫がなかったため持ち歩かない貴重品はスーツケースに入れて鍵をかけていた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
寮や学校では WiFi を使用した。 WiFi の使えないところでは E-Sim を使用した。19 日間で 10 ギガ程度だった。 どちらも基本的には問題なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
シャワーのときにビーチサンダルが便利だった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
発音に特化した授業は日本ではなかなか経験したことがなかったため、この研修で学べてよかったと思った。
2)課外プログラムについて
2日に1回とたくさんのアクティビティがあり、どれもとても楽しかった。スクールバスでの送迎があるため移動も楽だった。目的地に着いてから自由行動の時間が多いため、友達と計画を立てておくとすると充実させられると感じた。
3)現地での生活に関すること
夏でも朝晩と天気が悪い日は、寒かったため羽織れるものがあると便利だと感じた。 寮の近くにバスと地下鉄の駅があり便利だった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
午後の culture conversation の時間に、担当の人と話すことができた。この時間にカナダの文化についても学ぶことができた。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
寮の共有スペースで、1回現地の人と話す機会があった。 買い物やレストランでの会話

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
チップの文化は日本にないため、戸惑うことがあった。ファストフード店などでは払わなくてよい場合が多いが、レストランなどではチップの相場を調べておくとお会計がスムーズにできたと感じた。 コンビニが少なく、値段も非常に高かった。あとから、カナダのコンビニはあまり使わないほうが良いと聞いた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修では、午前中の授業では楽しく英語を学習し、午後のカルチャーカンパセーションではカナダの文化を学ぶことができた。また、アクティビティで様々な観光名所にも行くことができ、毎日が本当に充実していた。実際に英語圏で生活することで自分の英語力にも自信が付き、今後の学校の英語の授業でも積極的に学んでいきたいという意欲がわいた。夏休みということもあり、プログラムの参加者はほとんど日本人だったため、自分で積極的に現地の人とコミュニケーションをとろうとしたり、授業で日本語を使わないように意識したりすると、留学をより有意義なものにできると思った。
